

厚生労働大臣提出資料

令和 4 年11月10日

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

「賃上げ・人材活性化・労働市場強化」雇用・労働総合政策パッケージ（令和4年10月28日公表）

【基本的な考え方】

- ・コロナ禍では、感染拡大防止に向けた行動制限等による経済活動の抑制に対し、企業の事業継続のための支援に加え、雇用調整助成金等の特例措置を講じることで雇用維持に向けた支援を行い、経済状況が不安定化する中での雇用と暮らしの安定に貢献。
- ・一方、コロナ禍での緊急的・短期的な政策が長期化することにより、有効な人材活用が進まず、コロナ禍以前からの構造的な課題でもある労働供給制約からくる人手不足の問題が再び顕在化しはじめている。
- ・また、個々人の意識の変化や構造変化が加速していく中で、個人の自律的なキャリア選択やライフステージに応じた多様な働き方へのニーズは高まっており、そうした多様な働き方を行いながらも、労働市場での様々な機会を活用しながら、賃金が上昇していく仕組み作りが求められている。
- ・意欲と能力に応じた「多様な働き方」を可能とし、「賃金上昇」の好循環を実現していくため、中長期も見据えた雇用政策に力点を移し、これまでの「賃上げ支援」に加えて、「人材の育成・活性化を通じた賃上げ促進」「賃金上昇を伴う円滑な労働移動の支援」「雇用セーフティネットの再整備」の一体的な取組を推進していく。
- ・この一体的な取組を通じて、経済変化に柔軟で、個人の多様な選択を支える「しなやかな労働市場」を実現し、人材の活性化と生産性の向上を通じた賃金上昇のサイクルを目指す。

コロナ禍の緊急的・短期的政策

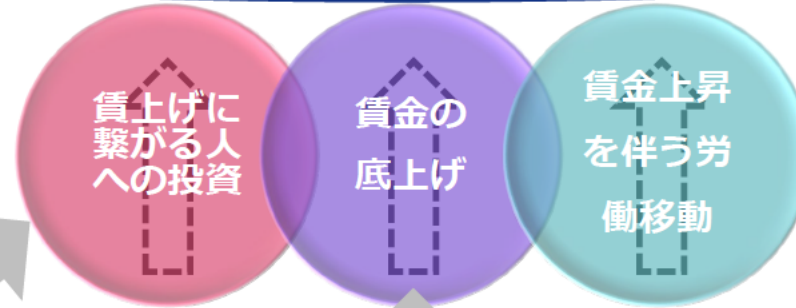
- （目的）コロナ禍での「雇用と暮らしの安定」の実現
（手段）雇用維持支援、休業支援
- ⇒ 厳しい経済状況の下で雇用維持に貢献
⇒ 一方で、支援の長期化により、有効な人材活用は停滞し、足下では人手不足の問題が再び顕在化



これからを見据えた雇用政策

- （目的）「賃金上昇」とそれを支える「多様な働き方」の実現
（手段）賃上げ、人材育成・活性化、賃金上昇を伴う労働移動支援、雇用セーフティネットの再整備の一体的な取組
- ⇒ 個人の多様な選択を支える「しなやかな労働市場」の実現
⇒ 人材の活性化と生産性の向上を通じた賃金上昇のサイクル

「あらゆる層の賃上げ」を推進する



①労働者の賃上げを支援する

- 最低賃金の引上げなどを通じた労働者の賃上げ支援

②個人の主体的なキャリア形成を促進する

- 個人のキャリア選択・学びの支援
- 新たな経験を通じた人材の育成・活性化
- ステップアップを通じた人材活用

③安心して挑戦できる労働市場を創造する

- 労働市場の強化・見える化
- 賃金上昇を伴う労働移動の支援
- 継続的なキャリアサポート・就職支援

④多様な働き方の選択を力強く支える

- 次なる雇用情勢の悪化に備えた雇用保険財政の早期再建
- フリーランスが安心して働くことができる環境整備
- 働き方・休み方の多様化、複線的なキャリア選択への対応

參考資料

「賃上げ・人材活性化・労働市場強化」雇用・労働総合政策パッケージ

1. 労働者の賃上げ支援

- ・ 最低賃金の引上げと履行確保
- ・ 業務改善助成金の拡充
- ・ 働き方改革推進支援助成金の拡充
- ・ 労働基準監督署による企業への賃上げ支援等
- ・ 賃金引上げのための各種支援策・好事例等の周知広報
- ・ キャリアアップ助成金（賃金規定等改定コース）の拡充
- ・ 同一労働同一賃金の徹底に向けた労働局と監督署の連携

2. 人材の育成・活性化 ～個人の主体的なキャリア形成の促進～

（1）個人の主体的なキャリア形成の促進

- ・ 人材開発支援助成金の助成率引上げ等の見直し
- ・ 教育訓練給付のデジタル分野等成長分野、土日・夜間対応講座の指定拡大
- ・ キャリア形成サポートセンターの拡充【*】

（2）新たな経験を通じた人材の育成・活性化

- ・ 産業雇用安定助成金（スキルアップ支援コース）（仮称）の創設
- ・ 産業雇用安定助成金（事業再編型（仮称））の創設【*】
- ・ 副業・兼業ガイドラインの周知
- ・ 副業・兼業に関する情報提供モデル事業の創設【*】
- ・ 人材開発支援助成金（事業展開等リスクリング支援コース）（仮称）の創設
- ・ 介護福祉士養成施設に通う学生に対する修学資金等の貸付を行う介護福祉士修学資金等貸付事業の原資積増

（3）ステップアップを通じた人材活用

- ・ 人材開発支援助成金の助成率引き上げ等の見直し【再掲】
- ・ キャリアアップ助成金（正社員化コース）の拡充
- ・ 産業保健関係助成金を活用した労働者の健康促進支援

3. 賃金上昇を伴う労働移動の円滑化 ～安心して挑戦できる労働市場の創造～

（1）労働市場の強化・見える化

- ・ 職業情報提供サイト（日本版O-NET）の整備
- ・ 労働市場の基盤整備に関する調査研究【*】
- ・ 専門的・技術的分野の外国人等の就業環境の改善に向けた実態把握・取組【*】
- ・ 働く人のワークエンゲージメントの向上に向けた支援【*】
- ・ 職場情報の開示に関するガイドライン（仮称）の策定
- ・ 大企業における男女間賃金格差の公表義務化を踏まえた「女性の活躍推進企業データベース」の活用促進【*】

（2）賃金上昇を伴う労働移動の支援

- ・ 労働移動支援助成金（早期雇入れ支援コース）の見直し
- ・ 中途採用等支援助成金（中途採用拡大コース）の見直し
- ・ 求人者に対する求人条件向上指導の強化
- ・ 求職者の希望賃金水準に合わせた個別の求人開拓の強化
- ・ 特定求職者雇用開発助成金（成長分野人材確保・育成コース）の対象事業主の追加

（3）継続的なキャリアサポート・就職支援

- ・ 公共職業訓練・求職者支援訓練のデジタル分野の重点化
- ・ 受講者の特性に対応した教育訓練手法の構築・普及促進事業【*】
- ・ オンライン相談を活用した在職者のハローワークへの誘導・職業相談の実施
- ・ キャリア形成サポートセンターの拡充【*：再掲】
- ・ 非正規雇用労働者等に対する就職支援プログラムによる早期再就職支援

4. 多様な選択を力強く支える環境整備・雇用セーフティネットの再整備

（1）次なる雇用情勢の悪化に備えた雇用保険財政の早期再建

（2）フリーランスが安心して働くことができる環境整備

- ・ フリーランスに対する相談支援等の環境整備事業【*】
- ・ フリーランスに係る取引適正化のための法整備

（3）働き方・休み方の多様化、複線的なキャリア選択への対応

「賃上げ・人材活性化・労働市場強化」雇用・労働総合政策パッケージ主な施策・概要

1. 労働者の賃上げ支援

(狙い) 中小企業等の生産性向上等と一体的に行う企業の賃上げに対する支援等を通じ、社会全体の賃金の引上げに取り組む
(主な施策) 生産性向上に資する設備投資等を行う中小企業等への支援の拡充 (R4補正・100億円) 【業務改善助成金】

2. 人材の育成・活性化 ～個人の主体的なキャリア形成の促進～

(狙い) 個人の主体的なキャリア形成・人材育成の促進・ステップアップを通じた人材活用に取り組む
(主な施策) ・労働者の自発的な訓練等を支援する企業への助成率の引上げ等 (R4補正・制度要求) 【人材開発支援助成金】
・企業内での新規事業展開等に伴い、労働者に必要なスキル習得のための訓練を行う事業主を支援する新たなコースの創設 (R4補正・制度要求) 【人材開発支援助成金】
・非正規雇用労働者を訓練修了後に正社員化した場合の加算額の拡充 (R4補正・制度要求) 【キャリアアップ助成金】
・教育訓練給付の講座の拡充 (デジタル等成長分野、オンライン・土日・夜間対応) (R4補正) 【教育訓練給付】

3. 賃金上昇を伴う労働移動の円滑化 ～安心して挑戦できる労働市場の創造～

(狙い) 賃金上昇を伴う円滑な労働移動を支える労働市場を作り出す
(主な施策) ・対象離職者について、賃金上昇を伴う早期再就職を支援する (R4補正・制度要求) 【労働移動支援助成金】
・「労働市場の見える化」を進める職業情報のインフラを充実させる (R5要求額・3億円) 【職場情報提供サイト (日本版O-NET) の整備】

4. 多様な選択を力強く支える環境整備・雇用セーフティネットの再整備

(狙い) 多様な働き方やキャリア選択を可能とするセーフティネットの再整備
(主な施策) ・雇用保険財政の安定化のための一般財源の繰入 (R4補正・7300億円) 【次なる雇用情勢の悪化に備えた雇用保険財政の早期再建】

- ◆ 働く人の意識の変化や構造変化が加速していく中で、**人材の育成・活性化**や**円滑な労働移動**を促進することで、「多様な働き方」を可能とする労働市場の整備を通じた「**構造的な賃上げ**」を実現していく。

「多様な働き方」・「構造的な賃上げ」 を実現する好循環

内部労働市場

人材の育成・活性化を通じた賃上げ

個人の主体的なキャリア形成の促進

- 企業の多様な人材開発支援・個人支援、能力評価の充実を通じた本人の主体的なキャリア形成の促進。

新たな経験を通じた人材の育成・活性化

- 在籍型出向、事業・職務転換、副業・兼業等といった「新たな経験」を通じたスキルアップの促進。

ステップアップ等を通じた人材活用

- 非正規雇用の方々へのステップアップの機会を提供。
- 同一労働同一賃金の徹底。

外部労働市場

賃金上昇を伴う円滑な労働移動

市場全体の労働条件の改善

- より高い賃金で新たに人を雇い入れる企業の取組を支援。
- 求人条件向上の指導強化等を通じた市場全体の賃金の底上げ。

継続的なキャリアサポート・就職支援

- 希望に応じた就職が行えるよう、企業外での継続的なキャリアサポート。

労働市場の見える化・インフラの強化

- 「労働市場の見える化」を進めるとともに、日本版O-NETの整備を行い労働市場インフラの強化を行う。

しなやかな労働市場

様々な経済情勢の中においても、個人が多様な働き方を選択でき、安定した暮らしを送ることができる労働市場

セーフティネットの再整備

- ハローワークを通じたきめ細やかな就職支援。次なる雇用情勢の悪化に備えた雇用保険財政の早期再建を行う。